

2022年10月12日朝刊中部版

綱先として屋台を引っ張る池田記者（手前右）＝島田市内



島田大祭・帯まつり

本社記者体験ルポ

一街青年を象徴する紫色の法被に初めて袖を通した初日。ペールに包まれて、綱を引っ張る伝令係を任された屋台がお披露目され、その迫力に圧倒された。屋台、伝令係で花形の役割がある。

島田市中心部で8〜10日に行われた年に一度の「島田大祭・帯まつり」。約330年の歴史を持つまつりの内部は、本通1丁目と大井町で構成する祭典組織「二街（がい）」に密着し、活動の中心を担う青年（15〜45歳）の一員としてまつりに参加した。

屋台運行 圧巻の

変化臆せず 文化継承を

綱の先頭を担う綱先。屋台を引っ張る上で、土台となる重要なポジションを初日から担当させてもらった。綱を体に巻き付け、屋台に立つ屋根係のゴーストを待つ。綱先は後ろを振り向かず綱が伸びるまで走り続けるが鉄則だ。

「綱先だけ」。屋根係の雄たけびを聞き、声を上げながら無我夢中で前を走った。補助係のストップの音が耳に届かないくらい集まっていた。綱が伸びきった反動でバランスを崩しかけた。

屋根係の「ヤレヤレヤレオー」の声に合わせて綱を引っ張り、屋台は少しずつ動いていく。ほんの数が動かすだけでも息が上がった。屋根係と屋台の方向を微調整することで、伝令係らの「一体感」は圧巻だった。

（島田支局・池田悠太郎）

「参加してくれてありがとう」。一街青年長の兼岩将太さん（35）の言葉が胸に響いた。参加が受け入れられた背景には、青年の人手不足があった。一街伝令係は7人と前回の半以下。青年の不足は各街で顕在化する問題だ。今回は新型コロナウイルス禍で人集めはますます困難した。

一方で明るい材料もあった。島田帯祭り保存が地元の小中学校で開いた出前講座をきっかけに参加した子どももいた。女性の活躍する場面を広げるために従来のしきたりを変えようとする新しい動きも始まりつつある。



運行する街ではサイズが一番大きいという一街の屋台

記事を読んで、問いに答えなさい。解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

①島田大祭・帯祭りにおいて、本通1丁目と大井町で構成する祭典組織のことを、何と呼ぶか。記事中から漢字2字で抜き出して答えなさい。

--	--

②この記事を担当している記者の方は、地域の出身者ではないが祭りへの参加が受け入れられた。なぜ受け入れられたのか。次の語句を必ず使って、説明しなさい。 < 伝令係 >

③祭りを担う人手不足の状況の中で、今後の祭りにつながる明るい材料もあったが、どのようなことか。具体的な動きを一つ挙げ、説明しなさい。

④見出しの中にあてはまる語句を、記事中から漢字3字で抜き出して答えなさい。

屋台運行 圧巻の（ ）

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 伊藤 大介（静岡聖光学院中学校・高校 教諭）

（中学校／社会、総合）

2022年10月12日朝刊中部版

記事を読んで、問いに答えなさい。解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

①島田大祭・帯祭りにおいて、本通1丁目と大井町で構成する祭典組織のことを、何と呼ぶか。記事中から漢字2字で抜き出して答えなさい。

一 街

②この記事を担当している記者の方は、地域の出身者ではないが祭りへの参加が受け入れられた。なぜ受け入れられたのか。次の語句を必ず使って、説明しなさい。 < 伝令係 >

(例) 祭りで伝令係を担う青年の人手不足があったり、新型コロナウイルス禍で人集めに困窮したりしたため。

③祭りを担う人手不足の状況の中で、今後の祭りにつながる明るい材料もあったが、どのようなことか。具体的な動きを一つ挙げ、説明しなさい。

(例) 島田市帯祭り保存会が地元の小中学校で開いた出前講座をきっかけに祭りに参加した子どもがいたこと。

綱先として屋台を引っ張る池田記者（手前右）＝島田市内



島田大祭・帯まつり

本社記者体験ルポ

一街青年を象徴する紫色の法被に初めて袖を通した初日。ペールに包まれて、綱を引っ張る伝令係を任された屋台が披露された。屋台の迫力に圧倒された。屋台

島田市中心部で8〜10日に行われた年に一度の「島田大祭・帯まつり」。約330年の歴史を持つまつりの内部は、本通1丁目と大井町で構成する祭典組織「二街（がい）」に密着し、活動の中心を担う青年（15〜45歳）の一員としてまつりに参加した。

屋台運行 圧巻の

変化臆せず 文化継承を

る。綱の先頭を担う綱先。屋台を引っ張る上、土台となる重要なボジションを初日から担当させてもらった。綱を体に巻き付け、屋台に立つ屋台係のゴーストを待つ。綱先は後ろを振り向き綱が伸びるまで走りぬけるが鉄則だ。「綱先だけ」。屋台係の雄たけびを聞き、声を上げながら無我夢中で前を走った。補助係のストップの音が耳に届かないくらい集中していた。綱が伸びきった反動でバランスを崩しかけた。屋台係の「ヤレヤレヤレオー」の声に合わせて綱を引っ張り、屋台は少しずつ動いていく。ほんの数分動かすだけでも息が上がった。屋台係と屋台の方向を微調整するこぼ、伝令係らの「一体感」は圧巻だった。（島田支局・池田悠太郎）

「参加してくれてありがと」。一街青年長の兼岩将太さん（35）の言葉が胸に響いた。参加が受け入れられた背景には、青年の人手不足があった。一街伝令係は7人と前の半分以下。青年の不足は各町で顕在化する問題だ。今回は新型コロナウイルス禍で人集めはますます困難した。一方で明るい材料もあった。島田帯祭り保存会が地元の小中学校で開いた出前講座をきっかけに参加した子どももいた。女性の活躍する場面を広げるために従来のしきたりを変えようとする新しい動きも始まりつつある。

運行する街ではサイズが一番大きいという一街の屋台



④見出しの中にあてはまる語句を、記事中から漢字3字で抜き出して答えなさい。

屋台運行 圧巻の（ 一体感 ）

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 伊藤 大介（静岡聖光学院中学校・高校 教諭）

（中学校／社会、総合）